

# 10・11・12月の一般向け展示

場所は  
本館1階

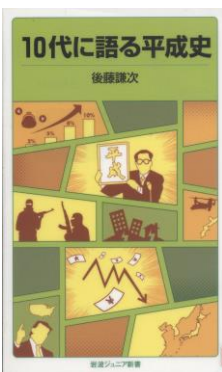
## 平成を振り返る ～30年の歩み～

来年の5月からは新しい年号が始まります。

2018年も終わる今、改めて平成という時代を振り返ってみませんか？

様々な事件や、災害があった一方、スポーツでの快挙や新しい文化も生まれました。

この三十年の出来事を、  
社会・スポーツ・政治・文学・芸能  
の5つの分野に分けて本で振り返ります。ぜひご覧ください！



## 平成

『10代に語る平成史』  
後藤 謙次/著  
岩波書店

10月20日(土)～  
11月11日(日)

## 秋の夜長にミステリー

「〇〇の秋」といえば、図書館なら「読書の秋」と言いたいところ。秋は夜が一番長い季節なのでゆったりと読書するには最適です！

そんなときにおすすめしたいのが、ミステリー小説。続きが気になってハラハラドキドキ。一気に読みたい小説だからこそ、ぴったりですよ。

この機会に上質なミステリー小説を集めますので、ぜひお立ち寄りください。



11月1日(木)～  
11月29日(木)



## 成年作家展示

### 10月 三浦綾子

1922年北海道生まれ。結核の闘病中に洗礼を受けた後、創作に専念する。1963年、『氷点』が朝日新聞社の懸賞小説に入選し、以後『塩狩峠』『続氷点』『細川ガラシャ夫人』など数多くの小説、エッセイを執筆した。

### 高樹のぶ子



1946年山口県生まれ。文学界新人賞の最終候補に二度残り、1980年『その細き道』で小説家デビュー。1984年、『光抱く友よ』で芥川賞受賞。近年では芥川賞、日経小説大賞、朝日賞の選考委員も務めている。

### 11月 #上ひさし



1934年山形県生まれ。放送作家としてスタートし、1964年NHKテレビの人情劇「ひょっこりひょうたん島」の台本で世に知られる。その後小説家としてもデビュー。「手鎖心中」で直木賞、「吉里吉里人」で日本SF大賞を受賞。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」をモットーとする。1967-1987年まで市川市在住。